

高さは10メートル)として残っている。

また三の丸尚蔵館は昭和から平成へと時代が移るのにもとない、平成元年(1989)に皇居から美術・工芸品類 6000 点余が国へ。平成 8 年に故秩父宮妃からご遺贈品、平成 13 年に香淳皇后のご遺品が、さらに平成 17 年に故高松宮妃からご贈答品が国に寄贈され、現在約 9500 点の作品が収蔵されているそうです。これらの美術品・工芸品類に関心のあるグループもありました。

東御苑は皇居の庭園として、天皇皇后両陛下のお住まいになっている皇居の一角で、豊かな自然や歴史に思いをはせながら、桜の花や梅、バラなど四季の変化やいろいろの花々が見られるように、いろいろな樹木、草花が植えられている。

大手門を入ると、自由行動で、三の丸尚蔵館のグループと、100 人番所を過ぎて天守台のグループ、休憩所で一休みのグループに分かれる。

100 人番所を過ぎて中雀門跡に来ると、遠くにどっしりとした天守台が見える、この場所に、バラ園(咲いていない)そして桜の島、桜の島には 30 種類位あるが、残念でしたがソメイヨシノは蕾みで、白い種類の桜が満開で綺麗でした。その蓮池濠の淵に最近話題になった、富士見多門があり、この富士見多門は、細長い建物で、ところどころに見張りようの格子戸があり、昔はここで、侵入者などを、見張っていたようです。

帰路も秋元部長の司会で、会員さんに感想を聞くと、80%位の人に、今回の旅行を評価していただきました。有難うございます、私の添乗日記と致します。